

全野党協議、早急に開始を!

参議院新潟選挙区の統一候補擁立めざし県革新懇が全野党に要請

新潟県革新懇（代表世話人 足立定夫弁護士など11人）は4月22日、立憲民主党など県内の全野党に対して要請を行いました。以下はその全文です。

御党におかれましては益々ご清栄のことと存じます。

本会として2月6日付で、「参議院新潟選挙区における市民と野党の統一候補の早期実現を」と題した要請書をお送りしました。しかし、市民と野党の統一候補としての実現が決まらないまま今日を迎えています。前の文書でもお伝えしてありますように、昨年の県知事選、新潟市長選挙などの一連の選挙結果を見れば、「ブリッジ共闘」では自公に選挙で勝利することはできません。すべての野

党と市民が一体となって選挙をたたかう「本気の共闘」をつくりだすことが、勝利のための最低限の条件であることは明らかです。

塚田一郎参議院議員は、自らの「忖度発言」により国交副大臣辞任、自民党県連代表辞任など、国会議員としての資質が問われる事態に直面しています。心ある県民は、おごり高ぶる安倍政権の強権政治に対して参院選で「退場」の審判をくだすべく、新潟選挙区での野党統一候補の一刻も早い実現を切望しています。

ぜひ、参院選新潟選挙区での野党統一候補（市民と野党の共闘候補）の擁立のために、以下の通り、早急に県内全野党や市民連合@新潟との協議を始めてください。

記

1. 県内の全野党と市民連合@新潟によびかけ、参院選新潟選挙区での野党統一候補擁立のための協議をただちに開始してください。



4月上旬のある日、市民の方から、「吉川区の東寺、平等寺などで水道の圧が下がって困っている人がいる。助けてやってください」といった趣旨のメールをいただきました。その日のうちに、東寺、平等寺、後生寺の5軒ほど訪ねて、実情を聞いてもらったところ、メールの通りでした。3月19日から配水の圧が変わって、1個の蛇口だけを使っている時はまだいいのですが、複数使

「水道の出が悪い、何とかして」の声、切実



【チゴユリ】再掲。イヌサフラン科の多年草。漢字で「稚児百合」と書きます。市内の雑木林の木陰などに生えています。高さは20センチ前後。けっこう、あちこちにありますよ。4月～6月にかけて白い花をひとつ咲かせます。いつも下向きの花のせいでしょうか、花言葉は「恥ずかしがり屋」です。4月23日、吉川区代石にて撮影。

た時には、シャワーの出が悪いなどといったことになるのです。一番心配されていたのは消火栓です。いざというときに役に立たないかもという声が出ていました。現地調査した後、ガス水道局北部営業所を訪れ、私が見聞きした状況を参事さんに説明し、①基準の範囲内で配水している点も、圧が弱くて現実に困っている点を踏まえ、対策を講じてほしい、②消火栓はいざという時に使えないと困るので、機能がどうなるか調べたうえで、手を打ってほしいと要請しました。いつとキも早く改善されるようにしてほしいものです。

【訂正とお知らせ】

■前号に掲載した道路の写真は県道338号原之町上下浜停車場線のものでした。訂正します。
■来週5月5日(日)は連休のため、活動レポートの発行を休ませていただきます。「しんぶん赤旗」日曜版は4月28日号と5月5日号の合併号となります。よろしくお願ひします。

はしづめ法一の活動レポート

No.1907 2019.4.28

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第五五五回

ビデオ上映

四月二二日の午後、妻の実家で恒例の観桜会が行われました。今回は親戚筋のSさんが自分で制作したビデオ動画を持ち込み、全員で鑑賞したことから、これまで以上の盛り上がりとなりました。

この日の参加メンバーは、Sさんの他、妻のキョウダイ夫婦と近くに住むY子さんの総勢七人です。花見の対象となったサクラの木は樹齢四十数年のしだれ桜。花の付き具合はいまひとつでしたが、まだ散り始めることなく、田んぼをバックに美しい景色をつくりだしていました。

観桜会のメイン会場である広間のテーブルの上には鳥の唐揚げ、サラダ、キノコ、キャベツ、ニンジン、肉が入った煮物、寿司などが並び、ビールやお酒が用意されていました。

義兄がはじまりの挨拶をした後、食べ物リースがスタートしたかのように、テーブルを囲んだ者がいつせいに食べ始めました。参加者の中で一番背の高いSさんが長い手を活かして、食べ物を自分の皿に持っていきます。そばにいた人が、「長い手だねー、どこでも届く」と言うので、みんなが大笑いしました。

観桜会が始まってまもなく、Sさんと義兄が動き、居間のテレビを移動し、広間でも視られるようにしました。Sさんはビデオ上映ができるように他の機器も持参してきました。一〇分ほどでそれらをすべてセットし、準備オークーとなりました。

さあ、はじまり、はじまり。ビデオのスイッチを押すとすぐに音楽が鳴り、「いざ、〇〇〇〇」というタイトルが出た途端、みんなが笑いました。いかにもドラマチックなスタートになっていたからです。

テレビの大画面に映し出されたのは、今年一月下旬に同じメンバーで行ったミニ旅行の記録映像です。柏崎を出発して、鯨波の交差点脇のクジラが大きく映し出され、その後には国道を走る様子が出てきます。そして、ホテルの玄関からロビーに入ってくる様子を見て、また笑いが起きました。

映っているのは自分たちなのですが、誰かが「いかにもお年寄りといった感じだなあ」と言ったことで、それぞれが自らの「若い」を確認し、笑ったのです。

それだけではありません。背中が曲がり具合、歩く時の姿勢などがあるのまま画面に映し出されるたびに、何が面白いのかと思うほど、笑いが続きました。

夕食会に出された数々のご馳走が映し出されるたびに、「こんなの、出たっけ」などといった声も出ました。思っていた以上に記憶していないんですね、こういふこととて。みんな、食べることに夢中になっていたのかも知れません。

泊まった翌日の朝食風景も森昌子の「越冬つばめ」とともに出てきました。それを見ていた一人が、「うちの夕食よりも豪華だ」と言うので全員納得、また笑いました。

この日、妻の実家のサクラのことはあまり話題になりませんでした。話題になったのは、「小さな春」というタイトルの二本目のビデオ上映に出てきたサクラでした。このビデオは七年前に制作したもので、柏崎の南条から石川峠を通って小国の八王子に抜ける道のサクラが実に美しく写っていました。風に舞うサクラ、道をピンク色に染めた様子などに魅せられ、みんなが箸を休めてサクラを語りました。

ビデオを観たみんなから感謝されたSさんは言いました。「集まりがあるとこには楽しいイベントがなきゃ」。ひよっとすると、もう、来年の観桜会をどう面白くしようかと考えているのかも知れません。

初めて空撮してもらいました



先週の木曜日、浦川原区中猪子田のふるさと公園でサクラとともに空中から撮ってもらいました。左下が私です。

撮ってくださったのはYさんのYさんは、保倉川沿いや小黒川沿いのサクラ並木も空撮してしています。

空から見るサクラ、迫力があって、なかなかいいもんですね。

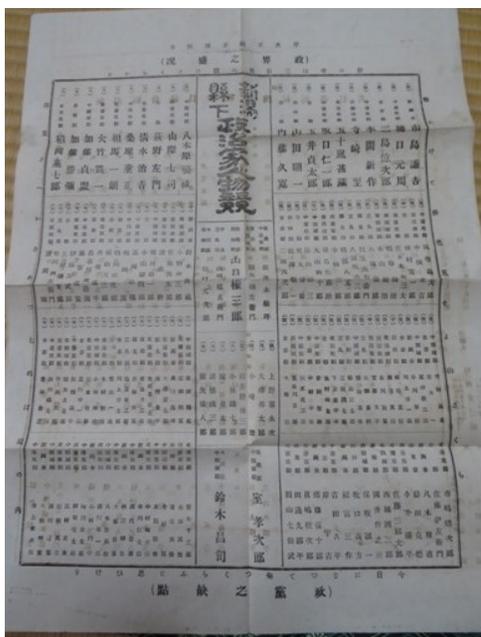
ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	4月17日(水)	4月24日(水)
上越南消防署	0.047	0.047
上越北消防署	0.047	0.050
新井消防署	0.043	0.047
頸北消防署	0.050	0.047
頸南消防署	0.060	0.060
東頸消防署	0.050	0.050
高士分遣所	0.047	0.050
名立分遣所	0.050	0.043



「政治家人物競」

市内のある家で、専門家の方と共に貴重な史資料を見せていただきました。

そのひとつは、「新潟県内の政治家人物競」の新潟県内の政治家の番付みたいな一覧表です。

いま、こんなことをやれば大問題となるでしょうが、各政治家の影響力などが推測されて、とても興味深いものとなっています。

自由民権運動家の鈴木昌司など上越の政治家も載っていました。